

明新館通信

第
15
号

山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
023-672-1700
平成21年3月19日(木)発行

学校経営計画 年度末自己評価

明新館通信の1号～4号で、平成21年度の「学校経営計画」・「指導の重点」・「具体的目標」を掲載しました。「具体的目標」についての評価がまとまりましたので掲載します。なお、評価の基準は次のとおりです(数字は点数)。

5、十分達成できた(達成度100%以上)。**4**、ほぼ達成できた(達成度90%以上)
3、やや達成できなかった(達成度80%以上)**1**、達成できなかった(達成度80%未満)

以下の表の右端の欄の数字は、職員による評価の平均値です。

領域	No.	具体的目標	点数
学習指導	1	1年生120分、2年生150分、3年生180分以上の家庭学習に取り組ませる。	1.2
	2	学期1回以上の家庭学習時間調査を実施し、家庭学習の定着化を図る。	3.0
	3	授業時間を最大限確保し、自習時間を前年度の80%以内に抑える。	4.2
	4	科目ごとにシラバスを作成・配布し、授業の進め方や評価の観点・方法を説明する。	4.1
	5	生徒による授業評価を全校で実施し、授業改善を進める。	4.0
	6	教科ごとに3分の1以上の研究授業に取り組み、指導法の改善に努める。	4.0
	7	知の宝庫としての学習センターの広報に努め、生徒一人年間3冊以上の図書利用を実現する。	3.1
	8	専門学科の地域行事参加や地域交流を年5回以上とし、地域との連携強化をさらに深める。	3.8
生活保健指導	1	各学年とも年間出席率99%以上を目指す。	3.1
	2	「おはよう」「さようなら」等のあいさつの日常化を進める。	3.5
	3	規範意識やマナーを繰り返し教え、問題行動の発生件数前年度以下に抑える。	4.0
	4	部活動への積極的参加を奨励し、全国高等学校総合体育大会団体1チーム、個人5人以上、全国高等学校総合文化祭1チーム、個人3人以上の出場を目指す。	4.5
	5	JRCを中心に校内外のボランティア活動への参加を奨励し、掲示板で広報する。	4.0
	6	個別面談を学期に1回行い、生徒理解に努める。	3.6
	7	スクールカウンセラーを配置し、年間24回の教育相談事業を実施する。	4.8
	8	学校適応指導委員会を毎月開催し、学校不適応生徒への手立てを組織的に行う。	4.3
	9	年間2回の避難訓練を実施し、自衛防災組織の機能化と日常の安全意識を高める。	4.4

領域	No.	具 体 的 目 標	点数
進路指導	1	1・2年生は「進路の手引」を活用し、進路目標の早期確立を図る。	3.3
	2	進路指導課・学年連携のもと、長期休業や放課後の講習を計画的に進める。	4.2
	3	進研模試の総合・各教科平均点とも全国偏差値で前年度を上回る。	3.1
	4	大学入試センター試験受験者数90名以上をめざす。	4.9
	5	国公立4年制大学15名以上、私立4年制大学90名以上の進学を達成する。	2.7
	6	講話、体験、見学等を計画的に実施し、職業観の育成を図る。	4.3
	7	進路指導を体系化した「キャリア教育総合実践プログラム」を実践する。	3.7
その他	1	P T A総会・P T A学年部会への保護者の出席率50%以上を目指す。	1.4
	2	P S T（保護者・生徒・教師）座談会を年間2回実施して、相互理解を深める。	3.1
	3	生徒・保護者による学校評価アンケートを継続し、学校評議員会を年3回開催する。	4.5
	4	火災・地震・不審者対応の危機管理マニュアルを、より即応性の高いものに改訂する。	3.2
	5	「個人情報保護台帳」をもとに、情報の取扱いや管理を適正に行う。	4.1
	6	学校ホームページを毎月更新し、情報発信に努める。	3.7
	7	科の研究（1編以上）と個人の研究・随想（5編以上）を含む『研修集録』を発刊する。	3.6
	8	光熱水費、用紙代等の節減に努め、前年度より縮減する。	3.7

※ この評価は2月上旬現在の評価です。

※ このことについては、2月24日（火）に校内で討議を行い、来年に向けての課題を確認しました。また、2月27日（金）に第3回学校評議員会で協議され、ご理解をいただきました。